



令和8年9月17日(木) 第7号

松本市立 岡田小学校

★★★ みんなのミライの学校を目指して ★★★

今月は、なかよし月間(人権教育月間)ということで、「自分も友だちも大切にしよう～みんなちがって、みんないい～」のめあてにおかって様々な活動を行っています。9月10日は、ドキュメンタリー映画『みんなの学校』のモデルとなった大阪市立大空小学校の初代校長である木村泰子先生を本校にお迎えして、子どもたちと懇談する機会を設けました。「ルールは何のためにあるの?」という問いに「約束は守らなきゃいけないんだよ」と素直に答えた1,2年生の子どもたち。木村先生は、廊下の右側方向を例にとり、「ルールは守るためにあるわけではなくて、何のためにあるのかを考えることが大切だよ」とお話してくださいました。「岡田小のとびっきりいいところは何かな」と質問された3,4年生は、あいさつ、笑顔がすてき、元気なところ、歌声、すぐに仲直りができる等々、たくさんの意見を出してくれました。木村先生は、大空小学校に転校してきたあるお子さんを例に取ってお話いただき、みんなが幸せになるために、自分ならどんな「みんなの学校」をつくりたいのか、子どもたちと一緒に考える時間となりました。



「自分の学校を自分でつくっていますか」と問いかけられた5,6年生。大空小学校の約束は、「人がいやがることをしない・言わない」というシンプルなものですが、「ルールがあるから悪いことをしないのか」という問いをもとに、改めて学校に大切なことは何かを考えました。失敗はしてもいいけれど、大切なことは「次どうするか」を自分で考え、何度でも「やり直し」をしていくことだと教わりました。



放課後は、「子どもたちから学んだこと」をもとに、職員との懇談が行われました。「とびっきりいいところ」がたくさんある岡田小の子どもたち。時に失敗してしまうこともあるけれど、同じ教室で共に学んでいくために必要なことは何かを、真剣に職員同士が議論する場となりました。

16日には、保護者の皆様に人権教育をねらいの一つとした授業をご参観いただきました。自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる子どもたちを、保護者の皆様と共に育てていきたいと考えております。

今後とも、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※表題の「みんなのミライの学校」とは、松本市内のすべての小中学校を対象に、子どもの視点に立った新たな学校づくりを目指す松本市の教育ビジョン・取組のことです。

【参考 <https://matsumoto-city-edu.note.jp/>】

◇避難訓練を実施しました

大雨による水の被害が各地で起きており、より一層訓練の重要さを感じます。本校では8月31日に地震を想定した避難訓練を行いました。今回は雨天だったため、体育館への避難訓練を行ったので、今年度は初めての校庭への避難となりました。子どもたちは、落ち着いて素早く安全に避難することができました。

ご家庭でも、留守番をしているときなどに、もし地震が起きたらどうすればいいのか、避難の仕方などについてお話してみてください。

おさない はしらない



しゃべらない もどらない

